

臨床美術の
現場から

32

コロナニモマケズ!

～アートで“前向きに自分らしく生きていく”を応援中～

京都市西院老人デイサービスセンター

【京都市右京区】



◆ご利用者の「楽しい」のために

西院デイサービスセンターでの臨床美術講座は今年で7年目を迎えます。

導入のきっかけは、アトリエ苗で開催した臨床美術セミナーに、「なんでも面白い性格で、自分は描けないけど(笑)アートが好き」とおっしゃる施設長と職員の方数名が参加されたことでした。その時「講座を施設で開催したら、ご利用者も楽しいし、本格的なアート作品をつくる作家となるのが楽しいだろうな」と感じられたのだそうです。

その後、職員研修会で『りんごの量感画』を職員の皆様にも体験して頂き、打ち合わせを重ね、2014年6月からアトリエ苗の出張講座として臨床美術講座がスタートしました。

◆お茶とお菓子と作品と

講座は毎月2回開催され、現在は、デイサービスの利用者様に加え、地域の一般の方も含む男女13名の方が参加しておられます。

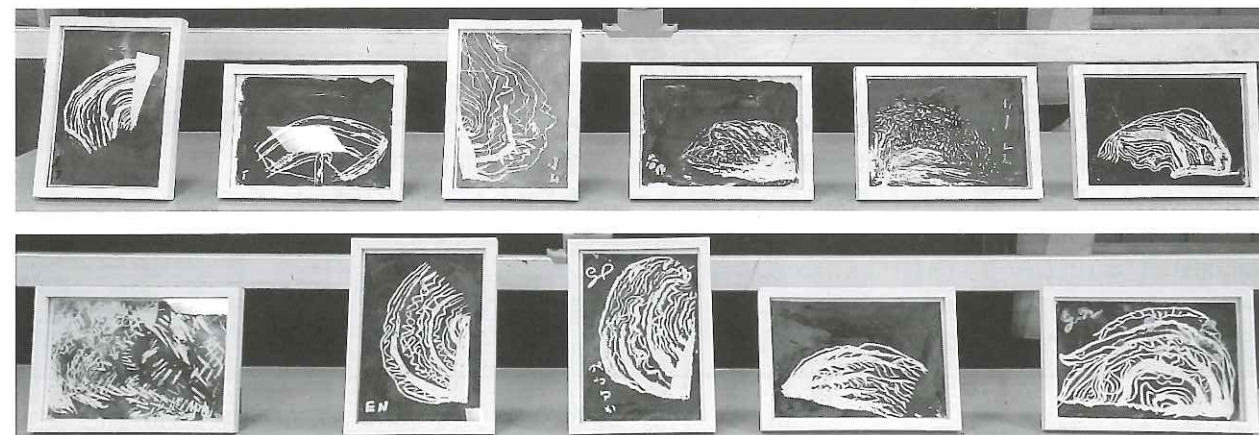
制作後には出来上がった作品を前に展示し、施設が用意して下さるお茶とお菓子を召し上がって頂きながら鑑賞会を行うのですが、臨床美術士スタッフや他の

方からご自身の作品を褒められると、皆さんとても満足そうに素敵な笑顔を見せて下さいます。3月に『満開の桜の大木』を描いた際には、梅をあしらったお菓子が提供され、並んだ作品を鑑賞しながら少し早めのお花見気分が盛り上がりました。

◆新型コロナウイルス禍の中で

新型コロナウイルスの影響が懸念される中、西院デイサービスではウイルス対策を講じながら講座の実施を継続しています。

具体的には、参加者を2グループに分けて1回あたりの参加人数を減らし、互いの間隔を保ちながら正面を向いて座れるように席の並びを変更しました。時間も2時間から1時間に短縮し、臨床美術士スタッフは、



手消毒、検温をクリアした上で入館し、講座中もマスク着用で臨んでいます。

6月の講座では『紫キャベツの迷路』を制作しました。

「こんな色のキャベツがあるんですか!？」と皆さん一様に興味津々のご様子。葉の色味を表現するのに、それぞれの感性で絵具の色を選び塗り広げられると、「キャベツの切り口をこんなにまじまじと見たのは初めてです…」とおっしゃりながら、まさに迷路に迷い込むように黙々と描き進めておられました。

参加者のお一人が、鑑賞会後に皆さんの作品を改めてご覧になり、「いろんな表現がありますね～」と感心しながら「今日も楽しかった」とおっしゃってお帰りになりました。普段とは異なる状況の中での実施にもかかわらず、そうおっしゃって頂けたことが何よりも嬉しく、励みにもつながり、形を変えながらも講座を継続している意義を感じさせる一言でした。

◆今こそアートの力で

私達にとって多少の息苦しさを強いられる生活はまだしばらく続きそうです。一日も早く、参加者同士でテーブルを囲み、ワイワイと賑やかに制作を楽しめるようになることを願って止みません。

それまでは今私達にできることを尽くしながら、臨床美術を通して皆さんに充足感を感じて頂ける講座に



表紙掲載作品 プログラム名「紫キャベツの迷路」 制作者：京都市西院老人デイサービスセンター臨床美術参加者

なるように工夫を凝らし、“前向きに自分らしく生きていく”お手伝いができるよう努めていきたいと考えています。

【臨床美術士 永田裕之】

* * * * *

◎社会福祉法人京都福祉サービス協会

高齢者福祉施設西院

京都市西院老人デイサービスセンター

〒615-0001 京都市右京区西院上今田町 18-3

TEL: 075-812-6711 FAX: 075-812-6776

ホームページ: <http://www.saiin-essassa.com/>

地域密着型サービスセンター welcome やまの家

〒615-0093 京都市右京区山ノ内宮前町 5-10

TEL: 075-813-5680 FAX: 075-813-5681

ホームページ: <http://welcome-yamanouchi.jp/>

◎関連施設

アート&ヘルスケア臨床美術アトリエ苗

(主宰フルイミエコ・臨床美術士)

TEL: 075-331-8967

E-mail: miekofurui@leto.eonet.ne.jp

アートセラピー「臨床美術」とは

絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることで脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法(アートセラピー)のひとつです。

1996年に医師、美術家、ファミリーケア・アドバイザーがチームとなって実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を越えたアプローチが特徴の臨床美術は、介護予防事業など認知症の予防、発達が気になる子どもへのケア、小学校の特別授業、社会人向けのメンタルヘルスケアなど多方面で取り入れられ、いきいきと人生を送りたいと願うすべての人へ希望をもたらしています。

◆芸術造形研究所ホームページ

<http://www.zoukei.co.jp/>

◆日本臨床美術協会ホームページ

<http://www.arttherapy.gr.jp/>